

おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2021
(令和3年)

5

No.205

◆第1回定例会	2ページ
◆予算特別委員会	4ページ
◆一般質問	8ページ
◆審議結果表/ 本会議及び委員会の動画配信中	11ページ

◆陳情/請願	12ページ
◆議会日誌/6月議会日程	13ページ
◆スマイルインタビュー あとがき	14ページ

第1回 定例会

総務文教委員会 主な審査内容

● 辺地に係る公共的施設の
総合整備計画の策定について

Q 新造船の事業費は現在の使用船舶「涼風」を造船した時に比べ高額であるが理由を問う。
また、利便性や安全性を求め追加
装備するのかわ問う。

A 「涼風」造船当時より材料費や人件費が高くなっていることに加え、バリアフリーや、入港時の安全性を高めるサイドスラスト等の機能を加えるため、見積額が高くなっている。

※サイドスラストは、船を横移動させる装置のことです。

● 大竹市まちづくり
基本構想の策定について

Q 大竹市まちづくり基本構想の冊子を全戸配布する他に、PR方法を考えているか問う。

A 現在は、市広報に特集記事の掲載を考えている。
また、基本構想のデータを市ホームページに掲載し、どこからでもご覧いただけるようにしたいと考えている。



大竹市まちづくり基本構想

Q 大竹市まちづくり基本構想は、小学5年生くらいから読める漢字を使用していると聞いたが、読みづらい漢字もあり、読み仮名を付けることはできないか。
また、市広報は点訳や音訳などをしてはいるが、基本構想も点訳や音訳をするのかわ問う。

A 読みづらい漢字や大竹市に関する固有名詞（三倉岳、阿多田島、亀居城等）には読み仮名を付けることを検討したい。

また、今回の基本構想は絵本の形で、ストーリーがあるため、文字を点訳、音訳するだけでは伝わりにくいと考えており、ストーリーを伝える

るナレーションを付けるなど工夫したい。

基本構想は30年先を見据えたものであり、時代に合った効果的な発信方法を今後も検討する。

● 令和2年度大竹市一般会計
補正予算(第15号)

Q 教育費旧穂原小学校動産撤去処分業務委託料として478万8000円計上されている。廃校になった学校用品をフリーマーケット形式で販売したことがあるが、今回は行わないのかわ問う。

A 解体前に、校舎にある不用物品を収集・運搬して処分する業務を委託するものである。
過去に旧松ヶ原小学校を会場にして物品販売を行った。

また、令和2年度にも大竹会館の改築に伴い、「おおたけリユース市」を行い、旧穂原小学校の物品の一部を出品した。校舎の解体は広島島の事業スケジュールと合わせて行うため、来年度に繰り越しをして、5月頃には残っている物品を全て処分しないといけないため、今後、不用品の物品販売を行う予定はない。

● 令和2年度大竹市一般会計
補正予算(第16号)

Q コイちゃんクーポンの利用率について問う。
また、前回と変更はあるのかわ問う。

A 前回のクーポン発行事業は、50万3347枚で、換金した金額が2億5167万3500円となり、利用率は94.5%である。

また、今回の事業の内容は前回と同様、1枚500円分のクーポン券を20枚(1万円分)とし、種類は中小事業者のみ使用できる青色を10枚、大型店舗でも使用できる赤色を10枚とする予定である。
クーポン券の絵柄は少し変えることを考えている。

採決の結果、すべての議案が
原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決

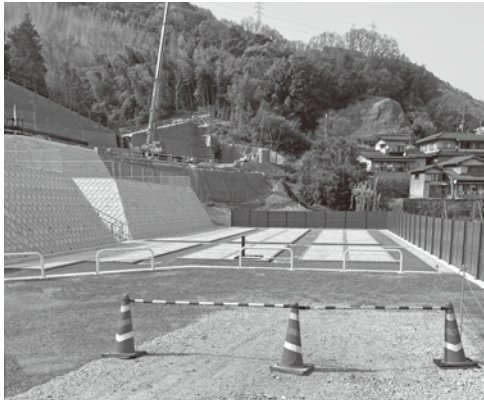
第1回定例会は、令和3年3月2日～3月25日の24日間行われました。
 詳細については、令和3年6月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。

生活環境委員会 主な審査内容

●大竹市墓地使用条例の
一部改正について

Q 市営白石墓苑について、何区画の移転が決まっているのか。
 また、移転完了予定である令和4年3月中までに移転されなかった場合はどうなるのか問う。

A 100区画中、85区画の移転が決まっている。移転予定の方には、これまでに複数回、意向の確認を行っており、令和4年3月中までに滞りなく移転が完了する見込みである。



市営白石墓苑の移転予定地

●大竹市精神障害者医療費
支給条例の制定について

Q 対象となる方に医療費の支給が行われるということだが、他市町でも同様の制度が実施されているのか。
 また、その財源について問う。

A 広島県が市町に呼びかけをしている事業であり、県内の全市町で実施が予定されていると聞いている。
 また、財源については、県の福祉医療費公費負担費補助金により2分の1の補助がある。

●大竹市介護保険条例の
一部改正について

Q 高齢化が進む中で、第8期介護保険事業計画の策定に伴い新たな介護保険料額を下げることでできた理由と、それをどう評価・分析しているか問う。

A また、新型コロナウイルスの影響で、介護給付サービスの利用控えがあり、保険料の設定に関係したのか問う。

A 理由の一つとして、第7期介護保険事業計画の中で予定していた施設整備の一部ができていなかった

め、給付費が抑えられたということがある。

新型コロナウイルスによる大きな影響は受けていない。低い理由としては、給付費が高くなりがちな85歳以上の方の介護認定率が、県内で最も低い状況であることが影響していると考えている。

●令和2年度大竹市国民健康保険
特別会計補正予算

Q コロナ禍で受診控えが出たこともあり、減額になるのではないかと予想していたが、増額になった要因は何か問う。

A 新型コロナウイルスによる大きな影響はなかった。12月に予想を大きく上回る給付があったことにより、今年度中の安定的な運用を図るため、増額するものである。

●令和2年度大竹市工業用水道
事業会計補正予算
●令和2年度大竹市公共下水道
事業会計補正予算

Q 耐水化計画基本構想策定業務の委託を予定しているが、この計画とはどのような内容か問う。

A 小瀬川の想定最大規模の洪水浸水想定区域には、小島雨水排水ポンプ場と小島汚水中継ポンプ場が入っており、想定される浸水深の設定と、浸水が想定される範囲の整理、浸水深に対して機能停止等リスクが高く耐水化が必要な施設に何が該当するかを検討する。

これにより、浸水のリスクが高い施設がある場合には、浸水発生時においても機能を確保すべき施設と関連する主要設備機器類等の抽出を行い、機能確保のための対策内容を検討し、耐水化計画を定めることになる。

●その他の議案 9件

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決

令和3年度予算案をチェック！

予算特別委員会

会計別予算額

一般会計		155億6,358万円
特別会計	国民健康保険	33億1,657万円
	漁業集落排水	4,649万円
	農業集落排水	4,932万円
	港湾施設管理受託	6,447万円
	土地造成	2億9,094万円
	介護保険	26億1,988万円
	後期高齢者医療	5億1,232万円
小計	68億9,999万円	
企業会計	水道事業	13億3,331万円
	工業用水道事業	9億7,861万円
	公共下水道事業	20億4,606万円
	小計	43億5,798万円
総合計	268億2,155万円	

※端数は四捨五入

3月定例会において提案された、令和2年度各会計予算は、3日間（3月15日～17日）にわたり予算特別委員会において慎重に審査した結果、総額268億2,155万円（企業会計を含む）を可決しました。

令和3年度の審査における質疑及び答弁の一部（5～7ページ）をご紹介します。



主要事業の一部

大竹駅周辺 整備事業

10億7,356万円



平成30年度から令和5年度までで総額39億2千万円の継続費を設定し、令和3年度は引き続き自由通路や橋上駅の本体工事を行います。

公立保育所等 整備事業

7億4,818万円



市役所敷地内になかはま保育所と立戸保育所を統合した保育施設、子育て支援センター、乳幼児健診等の母子保健事業も実施できる施設として令和4年4月から開設します。令和3年度中に完成する見込みです。

小島雨水 排水ポンプ場等 改築更新事業

2億9,300万円



令和3年度は、小島雨水排水ポンプ場の電気・機械設備の改築更新工事を行います。

一般河川 (水路) 浚渫事業

1億5,800万円



河川氾濫等による浸水被害を防ぐため、市内の河川（水路）内に堆積している土砂を撤去します。令和3年度は、恵川（玖波工区）、大膳川、三ツ石川、南栄排水路、元町東栄排水路の浚渫工事を行います。

予算特別委員会 質疑・答弁の一部

●新型コロナウイルスの ワクチン接種について

Q 現在の体制及び、2回接種を要する対応について伺う。

A 新型コロナウイルスワクチンが供給可能となった際、速やかに住民に接種ができるよう体制整備を行っている。

人員的体制の整備として、保健医療課に専任1名と兼任を付け、会計年度任用職員2名を雇用して、ワクチン接種に係る事務を担当している。また、システム改修も令和2年度中に完了する。

接種券の印刷及び郵送は、令和3年3月下旬を予定していたが、ワクチンの到着が遅れているため、令和3年4月上旬を目途に、高齢者の接種券の発送を予定している。

ワクチン接種は、集団接種を、大竹市医師会と広島西医療センターの協力により広島西医療センターで実施することとしている。個別接種は、5月以降、受託している各医療機関で接種できるよう調整を行っている。相談体制は、広島県に相談一括コー

ルセンターが設置され3月1日から運用しており、これに参加している。また、保健医療課内にも専用回線を設け接種医療機関、予約方法についての問い合わせを受け付ける。

2回目のワクチン接種の予約を集団接種、個別接種とも1回目のワクチン接種後の待機時間中にしていた

大きく想定している。

ワクチン接種は、国からワクチンをムダなく接種するよう1日100名以上とするよう要求されていることから、1日最大240名の接種を想定しているが、しばらくは160名を上限とし、体制を調整する。



ワクチン接種券と封筒

●防犯カメラ設置について

Q どのような場所に何カ所に設置するのか伺う。

A 昨年、大竹警察署長から安全・安心のまちづくりに向けた防犯カメラの増設の要望があり、特に人や車の流れが多い場所や通学路など、犯罪発生率の抑止や逃走経路の要所と考えられる6カ所程度に設置する予定である。

●子育ての相談について

Q 大竹市の子育てに関する相談体制について伺う。

A 令和3年度より、子ども家庭総合支援拠点事業を開始する予定である。

事業の内容として、児童の虐待、子どもの発達に関する悩みや育児のストレスなど、子育てに関する相談支援業務と、関係機関が連携して問題のある家庭の情報共有や支援方法を検討する、要保護児童地域対策協議会の運営や調整の業務を担う。

2つの業務を1つの機関が担い円滑に運用することで、年々増加する児童虐待に対応できる。

今後、子ども家庭相談員の資格を持つ職員を増やしていくことで、きめ細やかで家庭に寄り添った相談体制を整備し、虐待防止に取り組みたい。

●大規模盛土造成地の 調査について

Q 対象となる場所はどこで、何カ所あるのか伺う。

また、住民の方への周知はどのように行い、何らかの対策が必要な場合、補助があるのか伺う。

A 広島県のホームページで大規模盛土造成地マップが公表されており、大竹市には16カ所あるが、この中で優先度の高い5カ所を令和3年度の調査の対象としている。

対象地の盛土の全てが、地震の際、危険というわけではないが、現地踏査を行い、安全性の確認を行うものである。

当該宅地の所有者の方に、宅地防災に関心を持ち、地盤や擁壁の状態に気を配っていただきたいという趣旨でマップが公表されており、調査後も適切に情報提供をしていきたいと考えている。

また、令和3年度の調査の結果、安全性が確認できない場合は、令和5年度から令和7年度にかけてボーリング調査等を行い、更に安全性に問題があると判断される場合、令和8年度以降に対策工事が必要となるため、国が宅地耐震化事業を立ち上げており、これを活用した補助制度を検討することになる。

● 自主防災組織について

Q 自主防災組織育成指導事業について、前年度比約2倍となっている理由及び避難の呼びかけ体制づくりについてどのような訓練を想定されているのか伺う。

また、防災士資格取得のために、補助する考えはないのか伺う。

A 主な増額は、避難の呼びかけ体制構築支援補助金の70万円である。避難の呼びかけ体制構築とは、広島県が令和2年度から推進している事業であり、豪雨災害において逃げ遅れ被害をなくすための仕組みづくりである。

自主防災組織を豪雨災害に強い体制にするためのセミナー及び各種訓練に必要な経費を補助する目的として、参加する自主防災組織1組織に対し最大10万円を助成する計画で、広島県が全額補助する。

訓練の内訳は、地域独自の防災マップの作成、呼び掛け体制を考慮した連絡網の作成、避難訓練の実施等である。現在、市内には37の自主防災組織がある。

また、本市においては、地域防災リーダーの育成事業に努めており、今後においても防災士資格取得のための補助金は考えてはいない。

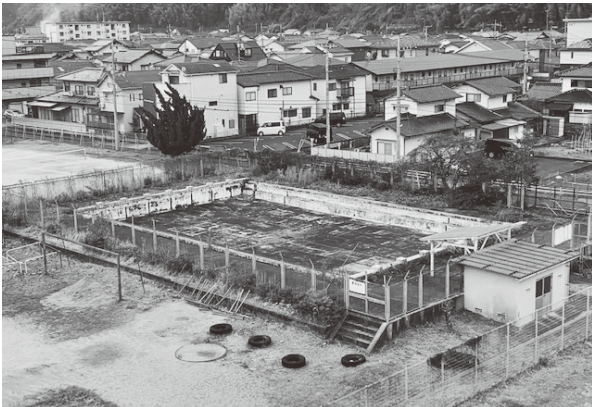
● 大竹中学校のプールについて

Q 大竹中学校のプール解体と大竹小学校のプール建設に関する事業計画について伺う。

A 令和3年度は両事業の設計業務を行う予定であり、令和4年度のプールシーズン終了後から解体及び建設工事を行いたいと考えている。

工期は解体に数カ月、建設に1年近くを要し、また、契約金額に同じ市議会の議決を必要とするため、令和5年度は利用できない。

令和6年度のプールシーズンから大竹小・中学校の児童生徒が共同で利用できるよう予定している。



解体予定の大竹中学校プール

● 市税収入について

Q 令和3年度の市税収入と国の地方財政計画について、どのように受け止めているのか伺う。

A 市税収入は、令和2年度当初予算と比較して、約2億2千8百万円減の約50億1千万円と見込んでいる。

増減内訳として、大手企業の法人税割の増、設備投資等の要因により、約2億9千7百万円の増加はあるが、償却資産の減価償却、固定資産の評価替え、その他の社会的要因により、約3億6千9百万円の減少、また、コロナ禍に伴う個人・法人の所得の減少、国の特別支援措置等により、約1億5千6百万円の減少を見込んだ結果、近年の当初予算の市税収入としては、最も少なくなると見込んでいる。

コロナ禍の影響を考慮し、予算計上をする必要があり、5億円を超える減少要因があったものの、3億円近い増加要因もあったことから、約2億2千8百万円の減少で済んだと考えている。

個人・法人の所得が減少し税収は減っているが、令和3年度以降、徐々に回復し、令和6年度には完全回復するという推計を立てている。

地方財政計画について、国では、毎年6月、概算要求前に経済財政運

営と改革の基本方針を閣議決定しているが、もともと平成30年度の基本方針で、令和元年度から令和3年度まで、交付税交付団体については、安定的な財政運営に必要な一般財源の総額について、しっかりと確保することとされていた。

令和3年度の地方財政計画を見ると、平成30年度の基本方針が遵守され、交付税交付団体については自治体財政に悪い影響が出ないよう、一般財源を確保されたものと捉えている。

● 介護保険料について

Q 第8期介護保険事業計画の策定に伴い、新たな介護保険料額は下がることになるが、介護保険の財政負担の仕組みに変更はないのか伺う。

また、特別養護老人ホームをつくると、介護保険料が高くなるのか伺う。

A 介護保険の財政は、基本的に利用者は1割負担で、所得の高い方は2割や3割負担の方もいるが、利用者の自己負担を除いた部分が介護給付になる。それを公費と保険料で折半し負担する仕組みに変更はない。

また、特別養護老人ホームなどの施設ができれば、多くのサービスが提供できるようになり、給付は増え

る傾向となるため、保険料が上がる要素になる。

●上下水道料金について

Q 令和3年度から令和4年度にかけて水道料金及び下水道使用料の改定を検討することのだが、大竹市水道事業経営戦略及び大竹市公共下水道事業経営戦略等において、令和5年から令和30年までの料金改定シミュレーションがすでに行われている。
新規事業として改定検討を行う理由について伺う。

A 大竹市水道事業経営戦略及び大竹市公共下水道事業経営戦略の料金改定シミュレーションは、令和元年度の決算に基づき将来推計を設定しており、令和3年度の新規事業となる料金・使用料改定検討事業は、目標年度を令和5年度とし、令和3年度までの決算に基づき将来推計を設定したいと考えている。
また、水道料金及び下水道使用料の改定について、広島県内のほとんどが審議会を設置し検討している。本市においても審議会を設置し、説明資料作成に要する費用等、審議会の運営に関する費用も含まれている。

●污水管路の調査について

Q 令和3年度の大竹処理区(元町分区・御幸分区)管渠点検調査業務、新町一丁目管渠改築更新設計業務、新町雨水排水ポンプ場放流渠基本構想設計業務の内容について伺う。

A 大竹処理区(元町分区・御幸分区)管渠点検調査業務について、元町3・4丁目地区及び立戸地区の污水幹線管路の点検・調査を行う予定である。
新町一丁目管渠改築更新設計業務

について、現在のウォンツ大竹新町の店舗裏を流れている水路の下流側において、一部下水道管渠が水路内に突き出ており、水の流れを阻害しているため、支障となる下水道管渠を撤去し、他のルートに汚水を流すことができないか検討を行う。

新町雨水排水ポンプ場放流渠基本構想設計業務について、新町雨水排水ポンプ場からの雨水排水の放流先となる小瀬川の管理者と協議を行うための図面作成業務となる。

排水口の設置予定場所は遊歩道等の施設が整備されていることから、施設の一部廃止を含め、河川管理者と協議・検討を行ってきた。引き続き来年度も協議・検討を行い、排水口の位置が決まれば排水施設の形状や構造について現地の測量を基に、図面の作成を行いたい。

特別委員会で採決の結果、
全会計とも原案のとおり可決



本会議で採決の結果、
全会計とも原案のとおり可決

予算特別委員

委員	賀屋幸治
副委員長	西村一啓
委員	原田孝徳
	小中真樹雄
	中川智之
	網谷芳孝
	日域究
	寺岡公章



令和2年9月撮影

児玉 朋也

- 新入学1年生にランドセル支給を検討してはどうでしょうか
- 木造化への取り組み内容をお聞かせください

山本 孝三

- 核兵器禁止条約の発効にあたり
- 老朽施設の点検・整備・更新について
- 交通安全対策について

日域 究

- 1人1台のタブレットパソコンは、教育界の黒船になり得るか
- 法務局の土地の公図の精度を高める具体的手法についての提案

小中 真樹雄

- 中学生のオンライン学習開始について問う
- ICT支援員の配置について問う

藤川 和弘

- 阿多田島「海の家あたた」について

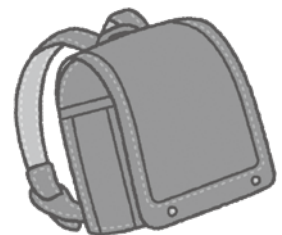


児玉 朋也

新入学のお祝いに
ランドセル支給について

問 小学校入学時にはランドセルを準備する必要があります。他の市町で長年に渡り「保護者の経済的負担の軽減」「入学のお祝い」としてランドセル支給を行っているところがあるそうです。大竹市も全ての新入学児童へ支給を検討してはどうでしょうか？

答 **教育長** ランドセルの支給又はランドセル購入費の支給は、予算を伴います。厳しい財政状況の中で、保護者の経済的負担の軽減、中学生も含めた入学のお祝いのために、できることやすべきことを慎重に検討したいと考えます。



公共建築物の木造化への
促進について

問 国や地方公共団体は、低層の公共建築物の木造化を積極的に促進するものとしています。大竹市建築主体の令和2年度実施、令和3年度計画の木造率と、木材利用推進会議の協議内容をお聞かせください。

答 令和2年度に完成又は工事中の建築物は3件で、木造率は0%です。令和3年度以降の木造化の計画は、現時点ではありません。建築物を計画する際は、主務課と設計担当課が木材の利用も含めて協議・検討し、構造を決定しています。今後は、方針を踏まえ、推進会議を開催します。



原爆ドーム

答 核兵器廃絶に向けて県全体、日本全体で大きな流れをつくっていくことが重要であり、議員の皆様や市民の皆様の声とともに、関係機関とも連携しながら取り組んでいきます。

問 核兵器禁止条約が発効しました。被爆者・市民の運動の成果です。平和首長会議に加盟する大竹市として取り組みが求められます。

核兵器禁止条約の
発効にあたり



山本 孝三

老朽化した施設・橋の
補強・更新について

問 栗谷町後原の「登里橋」は50年前に建設されたもので、劣化・耐震性について心配されています。市の対応をお示しく下さい。

答 平成27年度と令和2年度に登里橋の点検を行い、直ちに補修を行う必要はない橋との判定結果が出ていますが、次の点検までに何か異常があれば、その都度対応します。

交通安全対策について

問 歩行者の安全が求められています。歩車分離信号機の設置基準を示し、検討し増設すべきです。また、市道の劣化が激しく、人身事故が心配される大迫谷尻線の補修をすべきです。

答 歩車分離信号機の設置基準は公安委員会が定めており、市の判断で設置できませんが、現場の危険度などを踏まえて警察に相談していきます。大迫・谷尻線の補修については、可能な範囲で対応していきます。

タブレットは、学校教育の
黒船になれるか



日域 究

問 コロナで塾に行けず成績が心配だというテレビ番組がありました。本来は学校こそが勉強するところ。

憲法は「すべて国民は、その能力に応じて、等しく教育を受ける権利を有する」とありますが、学校では単に年齢だけで学年を決め、それに合わせた教育課程で淡々と授業を進めます。能力に応じて対応しているのは残念ながら塾の方です。

ところがタブレットが登場しそれに学習ソフトを組み込めば、個人の能力に応じた対応が可能になります。子ども達が自由に勉強するので、学力差の更なる拡大もあるかも知れませんが、全員がそれぞれ能力を伸ばすのであれば良いのでは。それを抑えないようにお願いしたいと思いますが、如何でしょうか。



※文部科学省ホームページより

答 教育長 今、学校は児童生徒が協働的に学ぶ場でありながら、1人1人に合わせた個別・最適な学びも同時に提供することが求められています。以前から学校では、個別の指導や支援、ペアやグループでの教え合い、習熟度別指導など、日々工夫をしながら、能力に応じた教育の提供に努めています。1人1人の学習者用端末を導入することで、これまでにない学習の方法が新たに加わり、可能性が広がることが期待されます。

また、直接ものを見て、体験し、友達と会話し、自分で考え、紙に書く、または体を動かしたりすることのバランスを取りながら、端末の活用を進めていく必要があると考えています。



小中 真樹雄

中学生のオンライン学習
開始について問う

問 ①新年度から配備の端末を持ち帰り、オンライン学習を開始するようですが、どのような方向を目指しますか。先行自治体では、機能制限の設定で使いにくいという声もありますが、対応策は。

通信環境未整備の世帯にルーターを貸し出し、契約料・通信料は保護者負担。就学援助世帯は通信費を一部援助としています。全額補助は可能ですか。
②ICT支援員の配置について問う。
ICT支援員の配置が予定されていますが、何人をどのように配置しますか。常駐かそれともALTのように巡回となりますか。

答 教育長 ①端末を教材などの目標を達成するための手段、児童生徒の学びを補助するツールの1つとして活用して

いきます。
端末の長所を生かした積極的な活用に向けて、具体的な実践例や活用例を蓄積して、市内小中学校で共有していきます。児童生徒が使用するので、フィルタリングを設定し、メールなどの機能を制限しますが、実際に使用していく中で、見直します。

就学援助世帯などには、通信費として月1000円を援助する予定です。この額は国の補助金と同額です。国・県内の状況を踏まえ、全額援助は検討していません。

②ICT支援員は、派遣契約により1名を配置し、月に15日、1日7時間の勤務で、各学校を学級数に応じて巡回する予定です。



配備のタブレット

阿多田島海の家あたたの
管理計画について



藤川 和弘

問 現在、阿多田島には年間1万人以上の方が観光等の目的で来られています。そんな中、海の家あたたの利用者総数は減少しています。現在の取り組みと、灯台資料館を含めた利用者増加のため、今後の取り組みについて伺います。海の家あたたの管理を3名の方がされており、雇用を維持しながら、公共施設としての指定管理や、将来的には、民間に売却を視野に入れているのでしょうか。

もし売却を視野に入れているのであれば、民間企業の取得意向調査を行う予定はあるのでしょうか。海の家あたた施設の管理計画を伺います。

また、予約方法・利用方法の改善の考えはありますか。特に、1カ月前までに申し込まないと宿泊利用できないのは、非常に不便です。

答 教育長 現在、市ホームページのほか、じゃらんネット、全国の子供の遊び場情報が閲覧できる「こーよ」などで施設を紹介しています。
今後は、青少年の利用に支障のない範囲で、学習塾の合宿や幼稚園のお泊まり保育などでの利用の促進を検討します。指定管理や民間売却等については、民間の投資動向も悪い状況のため、現在意向調査等は考えていません。
将来的にそつした意向がある民間企業が現れた際は、総合的に勘案した上で、指定管理や民間売却が得策と判断できれば、選択肢の1つとして検討することはできると考えます。

予約方法の改善については、1カ月前までの申請期間の短縮について、前向きに考えていきます。



海の家 あたた

第1回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

	議案など	細川雅子	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	寺岡公章	山本孝三	審議結果	
議案第1号	令和3年度大竹市一般会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第7号	令和3年度大竹市介護保険特別会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第11号	令和3年度大竹市公共下水道事業会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第13号	大竹市精神障害者医療費支給条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第19号	大竹市墓地使用条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第20号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第21号	大竹市まちづくり基本構想の策定について	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第27号	市道路線の廃止及び認定について	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第28号	令和2年度大竹市一般会計補正予算（第15号）	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第29号	令和2年度大竹市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—：議長 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席

▶ 本会議及び委員会の動画配信中

大竹市議会では本会議及び常任委員会の録画映像を動画で配信しています。下記のQRコードを読み取っていただくと、動画配信サイト（YouTube）へ移行し視聴できます。



YouTube 大竹市議会

＼で検索／



【注意事項】

- ①この議会中継は、本市議会の公式記録ではありません。
- ②動画配信サイト（YouTube）とは契約関係にありません。録画映像の公開はおおむね2年を予定していますが、動画配信サイト（YouTube）の都合により事前に終了することがあります。
- ③画面に企業広告等が現れることもありますが、本市議会と一切関係ありませんのでご注意ください。また、広告等によるいかなる理由での損害についても本市議会は一切の責任を負いません。
- ④ご使用になるパソコン・接続環境によっては、動画をご覧いただけないこともありますので、あらかじめご了承ください。

陳 情

<p>【陳情名】 住民の為の正常な議事を求める陳情</p> <p>【提出者名】 谷和自治会 二井 博文 ほか 18 名</p>	<p>【要旨】 「黒塗りにした議事録を全面公開」の請願書は 500 人以上の署名を集めて提出されて、昨年 12 月議会で全議員の賛成で採択され、次のように処理をした。 ①2月市議会だよりに「請願事項にお答えします」の1枚の文書を大竹市全戸に配布した。 ②ホームページに「請願事項にお答えします」の文書を加えた。 ③ホームページの議事録は黒塗りのまま（議会採決を無視）（市民常識を無視） この採決の処置に対し、議長や議会への不信の声が多数よせられ今後さらに反響が増えてくると思う。 また、この問題を早期に解決して、大切な時間を市民の為の議会にするように、期待する意見も多々ある。 問題点 (1)「請願事項にお答えします」の文書の問題点。 「陳情書を要望書に変えてほしい」の発言の言わないの弁解をするのなら、言ったとする谷和自治会の弁明も載せて住民に分かりやすくすべきです。 (2)「陳情書を要望書に変えてほしい」の発言の谷和の見解。 9月15日谷和集会所に細川議長ら3人が来られ、「陳情書を要望書にしてほしい」と言われた。 昨年の2月26日の谷和で、「細川議長ら3人が陳情書を要望書にしてほしい」と述べた事に対して谷和自治会に確認を求められ、自治会は「その事は間違いない」と述べたが反論はなかった。 (3)「陳情書を要望書に変えたい」というのは、議会での公開の審議をせず、何か不都合な事があったのでしょうか。（陳情書・請願書は議会で審議する、要望書は議員に配布するのみ。） (4) 議事録に黒塗りを認めると、都合の悪い議論は黒塗りになり、議事録の意味がなくなる。 (5) 大竹市議会基本条例の根本精神である住民に寄り添う姿勢が感じられない。 陳情項目 (1) ホームページの議事録を議会の採択通り、隠しのない透明な議事録にする事。 (2) 「陳情項目にお答えします」の文書に谷和の主張を載せて再配布するか、または議会で、きちんと谷和の主張も認めた発言をする事。</p>	<p>【本会議の結果】 不採択</p> <p>※委員会へ付託せず、本会議にて即決</p>
---	--	---

本会議での討論

【採択とすべき討論】

「会議録をきちんとすべきであるということは、市民からの素直な陳情項目である。議員が納得しても市民は納得していないということは明らかに示されている。市民と議会が対立することは好ましくなく、早急に解決する必要がある」

「議会の求められる役割を果たすべき」

「ホームページ上、アスタリスクになっている会議録と「請願事項にお答えします」がリンクしていないためわかりづらい。市民に信頼される議会を目指す意味でも、お互いが歩み寄るための、また理解し合うための議論がまだ必要ではないか」

「今のものを後世の人が振り返ったとき、あまり良くわからないと思うので、もう少しスマートな取め方を考えてほしい」

【不採択とすべき討論】

「『請願事項にお答えします』の問題点を指摘しているが、この問題の帰趨（きすう）は、陳情者が明らかな証拠となる録音データの提出をしていないことに尽きる。録音データの提出がない以上、推定無罪の原則が適用されるのは明らかであり、陳情の採択を認めるわけにはいかない」

「『請願事項にお答えします』の文書は、議会運営委員会で全員一致で採択した経緯がある。紹介議員は議会人としてその対応を請願者に説明されているものと思っている。昨年12月に、請願の紹介議員がもうこのくらいでやめましょうと正式な場所で述べられているのに、またこのような陳情が繰り返し出てくること自体、紹介議員はもっと住民の立場に寄り添うことをやるべきではないか」

請 願

<p>【請願名】 公立・公的医療機関等の「再検証」要請の白紙撤回、および地域医療構想の見直しに関する請願</p> <p>【提出者名】 田中 治績 大崎 ほか 住田 隆司 桜井 和春</p>	<p>【要旨】 2019年9月、厚生労働省は病院の統廃合や再編について「再検証」を要請する公立・公的病院の名前を公表しました。その中に広島西医療センターも入っています。広島西医療センターは、がんなど限られた項目での診療実績が少ないことや、類似の病院が近接していることを判断基準に、一律機械的に出されたもので、各病院の性格や地域の実情は全く加味されていません。 当院は、筋ジストロフィーや重度心身障害など政策医療を担っており、病院名の公表後、患者や患者ご家族から今後の生活を不安視する声が相次いでいます。また、災害拠点病院・へき地医療拠点病院・血液疾患専門医療・臨床研修病院として地域になくてはならない病院です。大竹市民から寄せられた「いのちと健康を守るための署名」は1500筆にのぼり、不安の声が上がっています。 2020年、新型コロナウイルスが猛威を振るう中で、県内でも多くの公立・公的病院が患者さんを収容し治療にあたっています。このような中で、厚生労働省「地域医療構想に関するワーキンググループ」は計画の撤回や修正をしていません。 感染症の拡大、大規模災害の緊急事態から国民と地域医療を守る万全の対策をとるために、国が責任をもって公立・公的病院の機能強化を図るよう求めます。 つきましては、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣に意見書を提出いただきますよう請願いたします。 請願事項 1. コロナ禍での公立・公的医療機関等の「再検証」要請の白紙撤回を国に求めること。 2. 地域医療構想は、住民自治の原則に基づき、自治体が主体となって地域住民の声を反映させながら、充実をはかるように求めること。</p>	<p>【付託委員会】 生活環境委員会</p> <p>【委員会の結果】 継続審査 「広島西地域医療構想調整会議の結論や国からの指示が延期されており、結論的な方向が示されていない。もう少し慎重に検討し、結論すべき」 「令和元年と今とでは、新型コロナウイルスの影響により、病院のあり様が変わっているため、あらためて考えた方がよい」</p> <p>【本会議の結果】 継続審査</p>
--	---	--

議会日誌

令和3年2月～
令和3年4月

- | | |
|--|--|
| <p>2月 5日 全国市議会議長会
基地協議会総会（書面審査）</p> <p>15日 議会改革特別委員会</p> <p>16日 全国高速自動車道
市議会協議会定期総会（書面審査）</p> <p>24日 議員全員協議会
議会運営委員会
生活環境委員協議会</p> <p>3月 2日 議会運営委員会
本会議
総務文教委員会</p> <p>3日 生活環境委員会
広報広聴特別委員会</p> <p>9日 本会議</p> <p>10日 決算特別委員会</p> <p>12日 基地周辺対策特別委員会
議会改革特別委員会</p> <p>15日 予算特別委員会</p> | <p>16日 予算特別委員会</p> <p>17日 予算特別委員会</p> <p>25日 議会運営委員会
本会議
総務文教委員会
生活環境委員会
議会運営委員会
議員全員協議会</p> <p>30日 広報広聴特別委員会</p> <p>4月12日 広報広聴特別委員会
総務文教委員政策研究会
生活環境委員政策研究会</p> <p>14日 広島県市議会議長会
定例会（広島市）</p> <p>20日 中国市議会議長会
定期総会（島根県浜田市）</p> <p>23日 議会改革特別委員会
基地周辺対策特別委員会</p> |
|--|--|

本会議	特別委員会	〃	常任委員会	〃	本会議
6月25日(金)	6月17日(木)	6月16日(水)	6月15日(火)	6月14日(月)	6月11日(金)
				(予備日)	

6月議会日程(予定)

市議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。

議
会
を
傍
聴
し
ま
せ
ん
か





第32回 スマイル インタビュー

年間のスケジュールはどんなものですか？

春から初夏にコウゾ畑の草取り芽かきをしたうえで晩秋から冬にコウゾを刈り取り、蒸して皮をはぎ、黒皮を取り、白皮にします。紙すき体験や出前体験授業にも取り組みます。

これまでの活動を振り返って特に印象に残ったことは？

手すき和紙がユネスコ文化遺産に登録され、体験来訪者やボランティア参加者が増えたことです。

大竹の和紙のすばらしさをどのように伝えていくべきと考えますか？

将来を担う子どもたちの学校授業に取り入れてほしいです。

コウゾの栽培などで苦労していることはありますか？

イノシシ被害や天候異変などに左右され、原料確保に苦慮しています。



大竹手すき和紙作業風景

やってよかったと思うのはどんな時ですか？

当会の手すき和紙を卒論や課題発表で取り上げ、その連絡や答礼訪問を受けた時です。

後継者育成についての考えを。

一部の人の献身的努力やボランティアに支えられてきましたが、技術の伝承と品質保持のうえからも、専従者の確保が望まれます。



あとがき

コロナ対策費が加わって一般会計の予算が超大型200億円を突破した大竹市の令和2年度が終わりしました。大竹市は、国からのコロナ対策交付金を使って、すべきことは問題なく出来たと思います。好評だった大竹方式のクーポン券も一定の経済効果を発揮したものと考えています。

しかし、コロナ禍から見えてきた日本という国には、問題点がたくさん盛りです。国はなぜ、不明確な説明を繰り返すのか、確かな根拠を示した上での決断が、なぜ下せないのでしょうか。

体温が37.5℃あると病院には行けないと言われていました。PCR検査が簡単にはできない環境下、日本製の検査機器が海外で活躍と報道され、おまけにそれは日本では未承認だと。さらには、コロナ患者を受け入れた病院が経営危機になったり、日本の医療政策の問題点があぶりだされた感があります。公立病院再編構想も変えざるを得ないでしょう。国産ワフチンはなかなか出来ない

いし、輸入品もいつになったら届くのか、まるで逃げ水のようにです。この市議会だよりが配られる頃には、高齢者へのワフチン接種が佳境を迎えているはずですが、医師と看護師では対応出来ないとも言われます。前例を踏襲するだけでは、新しい世界には対応出来ません。今こそ、トップの英断を期待したいと思います。

広報広聴特別委員

- 委員長 北地 範久
副委員長 小田上 尚典
藤川 和弘
原田 孝徳
小中 真樹雄
中川 智之
日域 究

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

